



NGK SPARK PLUGS SUZUKA 2&4 RACE

AII JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

2023 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ 第2 戦

- 三重県
- 鈴鹿サーキット
- 1周 = 5.821km
- クラス / JSB1000
- マシン / BMW M1000RR
- タイヤ / BRIDGESTONE

JSB1000 #9 関口 太郎

| | |
|--------|---|
| RACE 1 | 4月22日(土) 天候: 晴れ コース: ドライ 予選 12番手 (タイム: 2分07秒480) 決勝 15位 |
| RACE 2 | 4月23日(日) 天候: 晴れ コース: ドライ 予選 18番手 (タイム: 2分08秒618) 決勝 13位 |

観客動員数 : 25,500 人 (2日間合計)



府中不動産

岡崎機工株式会社

旅籠屋

WillWay

Burgundy

YONE MOTORS

BRIDGESTONE



SUPER

SNOW J-TRIP S&E PRECISION RACING MAX

BEEPRESSO

alpinestars

カブト

HYOD

Motorcycle CS2

JAR

20m

INTER

SOG

バイク館



DESIGN ADVANTAGE

SHORAI

RK

NGK

Po

INOMATA

Arai

WIND JAMMERS

PLUSμ

TCM

MDF

RS

elf

ARAI

FIXFIT

Team PLUS ONE



全日本ロードレース選手権第2戦が三重県・鈴鹿サーキットで開催された。今回は、4輪のスーパーフォーミュラとの2&4レース。土曜日に行われたレース1は、鈴鹿8耐のトライアウト・ファーストステージにもなっており70台ものエントリーを集めた。また、スポット参戦が多いため、カーボンニュートラル燃料ではなく、ハイオクも使えることになり、今回は、ひとまず本来の流れで進めることができていた。

鈴鹿でも自己ベストを更新！

土曜日は、前日までに比べ気温が下がり風も強く、2つのストレートは追い風となっていた。セッション中盤に結果的にセカンドベストとなる2分08秒618を記録し、セッション終盤にアタックに入ろうと思ったところで赤旗中断。残り5分で再開され最後のアタックで自己ベストの2分7秒480を刻むことができたもののマシンのフィーリングはもう少し詰めたい感じで予選を終えた。



事前テストがないため、木曜日の特別スポーツ走行からレースウィークは始まった。BMW M1000RRで2年目を迎える、マシンへの理解度も進んでおり、さらに上のレベルを目指し、新たなセッティングの方向性を探りながらセッションをこなしていく。しかし、なかなかいい方向に進むことができず、金曜日の1本目までを費やしていた。金曜日の2本目から、車体姿勢を昨年の状態に戻し、コンディションに合わせてアジャストしていくが、今ひとつセットを詰め切れず苦戦していた。



レース1は、この日から走り始めるスーパーフォーミュラのフリー走行後になるため、路面コンディションの変化が予想された。その変化を判断するために、マシンセットを変更することは止め、予選のセットのままグリッドに着いていた。



14周で争われたレース1。序盤は、まずはまずのベースで走ることができていたが、それも自分のラインを走ることができているときだけ、相手がいると厳しい状態だった。レース終盤になるとネガな部分がでてきてポジションを落として



しまうが、それでも15位でゴールしポイントを獲得。レース2に向けても改善点を見つけることができていた。

日曜日朝のウォームアップ走行で変更したセットを確認。いい方向に進んでいたが、もう一步欲しいところだったので、チームと話し合い、さらにセットを変更してレース2に挑むことにした。

レース2は18番手グリッドと後方となっていたため、スタートに集中し、前の集団についていこうと思っていた。実際に、スタートを決め、その通りの走りができ、序盤に予選タイムと変わらない2分07秒487を記録する。レース中盤から後半にかけても前日のレース1よりアベレージは改善され、最終的に13位でチェックーフラッグを受けたのだった。



今回の鈴鹿2&4は、サスセットや車体姿勢、そしてタイヤと、最適なバランスを見つけるのに苦労しましたが、色々なセットを試すことができ、収穫の多い週末となりました。BMW M1000RRで2年目を迎え、マシンも煮詰まっていますし、いい方向に進んでいます。この調子で次戦のSUGO、そして鈴鹿8耐に向けて、いい流れを作っていくたいと思います。一つ前の集団は見えて来ていますし、これを破るのは、簡単ではないですがチャレンジしていきます。また、今回はハイオクが使えたことも、安心して走ることができた要因でした。金額面ももちろん大事ですが、安全性が最も大事。次戦以降もハイオクを使えることを希望します。

関口 太郎

